

『南スーダン PKO 問題を考える～ スーダン駐在の NGO 職員を招いて』

【講師】 今井高樹さん

日本国際ボランティアセンター（JVC）スーダン事務所代表

対談者：川口創弁護士

自衛隊イラク派兵差止訴訟弁護団事務局長

【日時】10月14日（金）18:30～20:45

【場所】名古屋YWCA 2階ビッグスペース

（地下鉄「栄」駅東5番出口より東へ徒歩2分）

【参加費】 800円



本年11月にも、南スーダンPKOに派遣される自衛隊の部隊に「駆けつけ警護」の任務が付与されることが想定されています。

しかし、最近の南スーダンでは、首都ジュバで大規模な戦闘が行われるなど、そもそも派遣要件であるPKO参加5原則、中でも紛争当事者間での停戦への合意が満たされているとは言えない状況です。

そうした状況の下、自衛隊に「駆けつけ警護」の任務を与えれば、憲法の禁止する武力の行使に踏み出すことになりかねません。自衛隊が海外で武力行使をする否か、岐路に立っています。主権者として、南スーダンでの自衛隊の活動を監視していくことが大事です。

南スーダンの実態については、なかなか知ることが出来ませんが、今回、日本国際ボランティア（JVC）でスーダンで活動をされている今井さんにおいて戴き、南スーダンの実態について語っていただきます。今井さんがスーダンから日本に戻ってきているわずかの間に名古屋において戴きます。貴重な機会です。是非ご参加下さい。

今井高樹氏（日本国際ボランティアセンター（JVC）スーダン駐在スタッフ現地代表）

会社員生活のかたわらJVCの活動にボランティアとして関わる。2004年に会社を退職、アメリカの公立小学校にインターンとして勤務したのち、2007年5月よりJVCスーダン現地代表。スーダン南部自治領（現南スーダン）のジュバに3年にわたり駐在。2010年よりスーダン（北部）の南コルドファン州に移動、2011年6月の紛争勃発後は首都ハルツームに駐在する。

【主催】 自衛隊イラク派兵差止訴訟弁護団（名古屋）

【連絡先】 自衛隊イラク派兵差止訴訟弁護団（事務局長 川口創弁護士）
（電話：052-211-2236 名古屋第一法律事務所内）